

**令和6年度 第2回
公立大学法人福島県立医科大学医療安全管理監査委員会 報告書**

このことについて、公立大学法人福島県立医科大学医療安全管理監査委員会規程に基づき実施しましたので、その結果について報告します。

- 1 実施日時 令和7年2月28日（金） 13:00～14:00
- 2 実施会場 カンファランス2
- 3 出席者 (委員)
委員長 今野 修 (医療に関する識見を有する者)
委員 安倍 孝祐 (法律に関する識見を有する者)
委員 田中 明 (医療を受ける者、その他の医療従事者以外の者)
(附属病院)
竹石病院長
室野副病院長
大塚医療安全管理部長
鈴木医療機器安全管理責任者 (臨床工学センター部長)
黒田医薬品安全管理責任者 (薬剤部長) ほか

4 議 事

(1) 書面審査

- ① 当院での画像検査所見見落とし防止の取り組みについて
大塚医療安全管理部長より説明があり、質疑応答を行った。
- ② モニタアラームコントロールに関する取り組みについて
丹治医療安全管理部看護師長 (GRM) より説明があり、質疑応答を行った。
- ③ より伝わりやすい医療安全情報の提供を目指してについて
丹治医療安全管理部看護師長 (GRM) より説明があり、質疑応答を行った。
- ④ 新規医薬品の安全な使用のための体制整備について
黒田医薬品安全管理責任者 (薬剤部長) より説明があり、質疑応答を行った。
- ⑤ 医療機器安全管理責任者の取組みについて
鈴木医療機器安全管理責任者 (臨床工学センター部長) より説明があり、質疑応答を行った。

(2) 実地確認

薬剤部へ移動し、薬剤に関する疑義チェックや誤調剤対応などについて実地確認を行った。

5 監査結果

(1) 書面審査

書面審査では経緯や取組みの実際、取組みの成果と今後の課題などについて①～⑤の担当者からそれぞれ資料を添えて個別に説明を頂いた後、いくつかの質問と確認をさせて頂いたが、各項目とも取組み後も残る課題とその対策が適切に抽出・作成されており、これらを徹底して実践して頂くことで医療安全管理は概ね妥当であると判断した。

(2) 実地確認

実地確認では電子カルテでの処方オーダーから薬剤払出しまでの流れや疑義チェック、誤調剤対応・ダブルチェックなどについて説明を受けるとともに適切に運用されていることを確認した。

令和7年2月28日
公立大学法人福島県立医科大学医療安全管理監査委員会
委員長 今野 修